

宇都宮市立宝木小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・対話や協働的な学びを取り入れた授業実践に努め、児童が積極的に自分の考えを伝え合い、ともに学び合える学級集団の育成を目指す。導入や発問、ICTを活用するなど学習活動を工夫し、多様な方法での学び合いを実践していく。	・各教科の結果から、基礎的な学力の定着に課題が見られる。特に「思考・判断・表現」の正答率が低い。 ・児童質問紙の結果から、児童は自分の考えを相手に伝えることに苦手意識を持っている。これからは粘り強く授業を通して、伝えることの喜び、学び合うことの楽しさを実感できる授業改善をしていく。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・自分の気持ちや考えを相手に効果的に伝えることに苦手意識をもつ児童が多い。 ・学ぶことに対する意味の共有と、単元や授業の道筋の理解からの自己選択・自己決定の学ぶサイクルの体験と成就感の不足。	・児童一人一人の思いを聴き合う時間の設定及び、論理的に伝えるための表現方法の指導 ・指導と評価の一体化の観点から単元や授業のねらいや道筋を児童と共有すること。	・各授業の中で、児童の気持ちや考えを聴き合う時間を意図的に設定する。 ・教育課程全般を通して、論理的に話す方法や技術を指導・支援していく。 ・教師と児童の評価の共有化を推進する。 ・教師が育てたい力と目指す子供の姿を明確にして授業に臨む。 ・児童に目指すゴール像を示してから授業に臨む。